

衛研第1-13号
平成27年 7月 1日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 27 年 第 26 週（平成 27 年 6 月 22 日～平成 27 年 6 月 28 日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、細菌性赤痢 1 人、腸管出血性大腸菌感染症 10 人の届出があった。四類感染症は、E 型肝炎 1 人、A 型肝炎 1 人、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、ウイルス性肝炎 1 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、急性脳炎 1 人、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人、梅毒 4 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**伝染性紅斑**(1.91 2.53)の定点当たり報告数は前週より大きく増加し、未だ増加傾向にある。保健所別では、坂戸(1.00 3.00)、さいたま市(3.19 5.07)、川越市(1.63 3.50)保健所管内で大きく増加し、幸手(3.56)、加須(3.50)保健所管内で多い状況が続いている。年齢階級別では、3～7 歳で全体の 69.1%を占めている。**手足口病**(2.69 4.91)の定点当たり報告数は前週より大きく増加し、夏季の流行期に入ったとみられる。保健所別では、東松山(4.00 9.00)、狭山(4.06 8.06)保健所管内で大きく増加し、坂戸(8.50)、朝霞(7.00)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では 1 歳が最も多く、1～4 歳で全体の 74.9%を占めている。**流行性耳下腺炎**(1.08 0.88)の定点当たり報告数は前週より減少したが、前年までの同時期と比べてやや多い。保健所別では、春日部(3.50)、越谷市(2.63)、幸手(2.44)保健所管内で多い状況が続いている。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(3.88 3.81)の定点当たり報告数は前週と同水準に留まった。保健所別では、川越市(7.25)、東松山(6.00)保健所管内からの報告が多い。**ヘルパンギーナ**(0.65 1.11)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、坂戸(3.33)、狭山(2.94)保健所管内からの報告が多い。眼科定点対象疾患では、**急性出血性角結膜炎** 2 人、**流行性角結膜炎** 42 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 5 人、**クラミジア肺炎** 2 人の報告があった。

< 全数把握対象疾患の患者情報 >

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	細菌性赤痢	1人（病原体 <i>S. sonnei</i> ）
	腸管出血性大腸菌感染症	10人（病型 患者 5人、無症状病原体保有者 5人、血清型 0157 4人、026 5人、091 1人）
四類感染症	E 型肝炎	1人（推定感染地域 国内）
	A 型肝炎	1人（推定感染地域 国内）
	レジオネラ症	1人（病型 肺炎型）
五類感染症	ウイルス性肝炎	1人（病型 B 型）
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1人（菌種 <i>Enterobacter</i> sp.）
	急性脳炎	1人（病原体 ヘルペスウイルス）
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1人（病型 孤発性）
	侵襲性肺炎球菌感染症	1人
	梅毒	4人（病型 早期顕症 期 1人、無症状病原体保有者 3人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

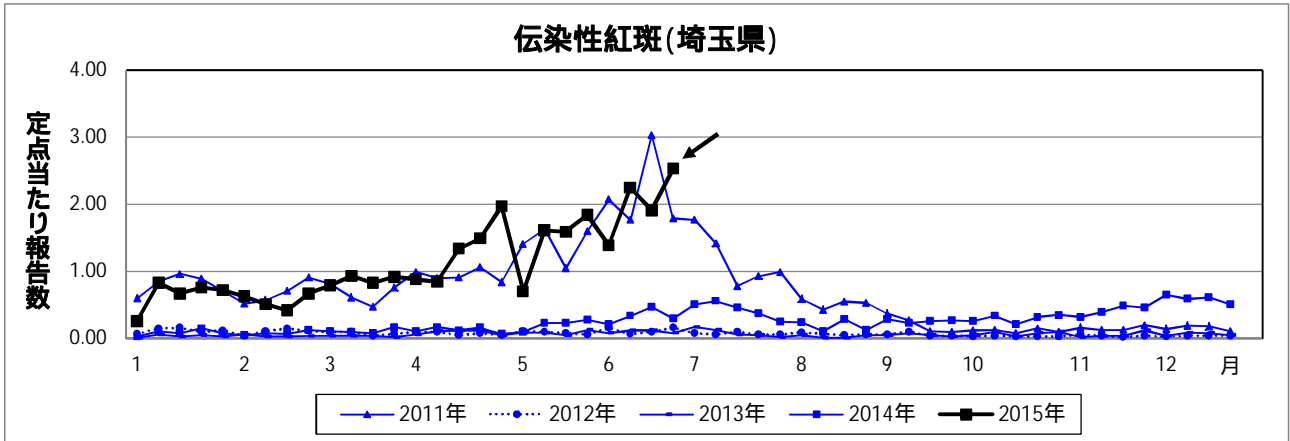
e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

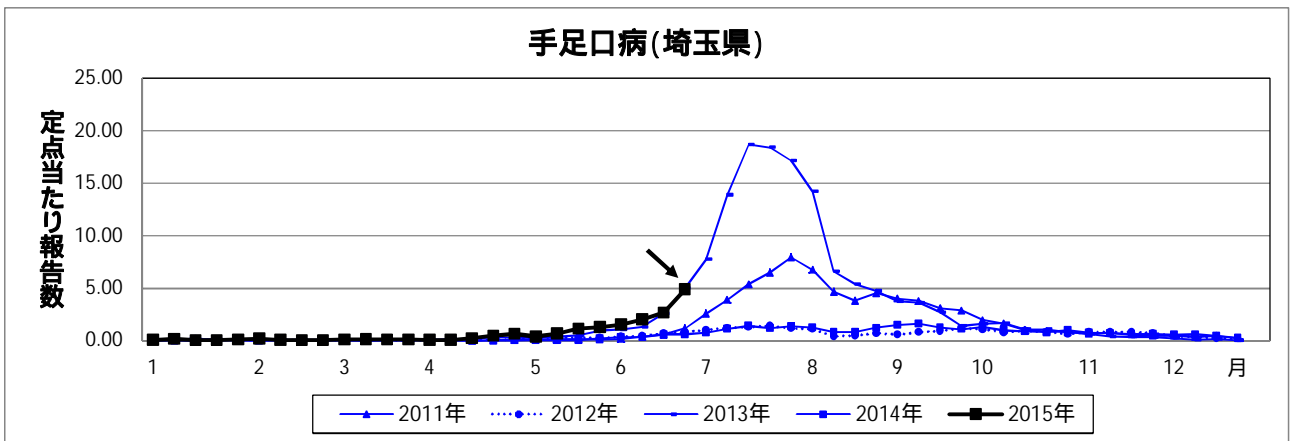
伝染性紅斑

県内全保健所から報告があった。保健所別では、さいたま市(5.07)、幸手(3.56)、加須(3.50)、川越市(3.50)保健所管内からの報告が多い。



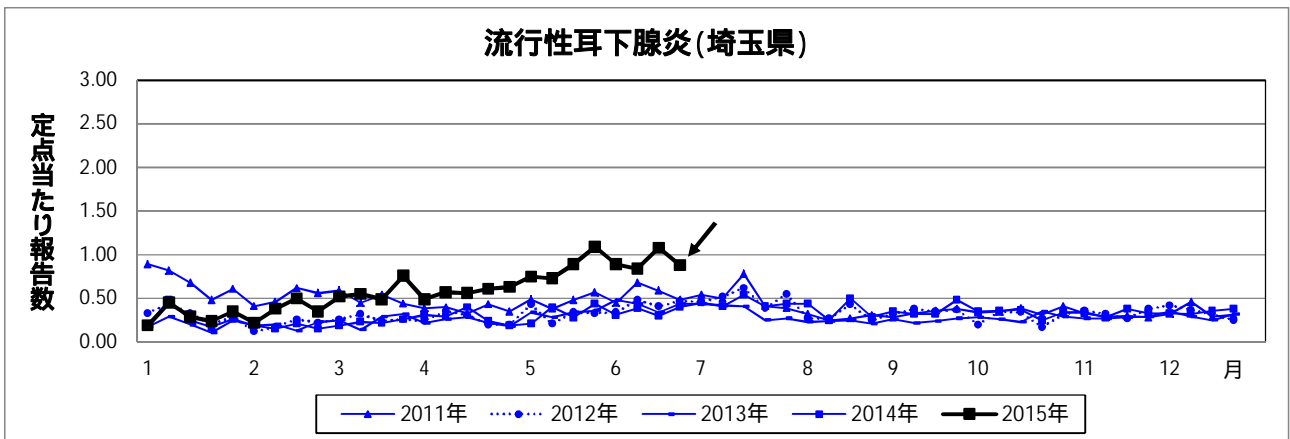
手足口病

県内全保健所から報告があった。保健所別では、東松山(9.00)、坂戸(8.50)、狭山(8.06)、朝霞(7.00)保健所管内からの報告が多い。



流行性耳下腺炎

川越市保健所を除く県内 15 保健所から報告があった。保健所別では、春日部(3.50)、越谷市(2.63)、幸手(2.44)保健所管内からの報告が多い。



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第26週)

(2015年 6月30日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢	1	3	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	10	47			
四類感染症					
E型肝炎	1	3	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
ウエストナイル熱			ニパウイルス感染症		
A型肝炎	1	9	日本紅斑熱		
エキノкокクス症			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
サル痘			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	24
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		7	ロッキー山紅斑熱		
東部ウマ脳炎					
五類感染症					
アメーバ赤痢		15	侵襲性肺炎球菌感染症	1	49
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	3	水痘*		5
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	13	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	16	梅毒	4	41
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		4
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	4	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		5	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		14	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
ジアルジア症		1	風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		7	麻しん		3
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	3			

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査		週情報		報告患者数		保健所別		平成27年6月22日～平成27年6月28日		平成27年6月28日								
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 # 3	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (口ウイルス)	インフルエンザ (入院)
全	1	4	139	609	1,127	76	785	404	138	-	178	141	2	42	-	5	2	-	-
川	0.00	0.03	0.87	3.81	7.04	0.48	4.91	2.53	0.86	-	1.11	0.88	0.05	1.05	-	0.50	0.20	-	-
朝	-	0.07	1.60	4.07	12.00	0.73	1.87	2.13	1.07	-	28	14	2	6	-	-	-	-	-
朝	-	-	12	61	119	7	105	23	14	-	18	7	-	-	-	-	-	-	-
鴻	-	-	0.80	4.07	7.93	0.47	7.00	1.53	0.93	-	1.20	0.47	-	-	-	-	-	-	-
鴻	-	-	8	36	93	6	73	21	9	-	7	7	-	2	-	-	-	-	-
東	-	-	0.67	3.00	7.75	0.50	6.08	1.75	0.75	-	0.58	0.58	-	0.67	-	-	-	-	-
東	-	-	2	24	49	-	36	9	6	-	-	9	-	-	-	1	2	-	-
山	-	-	0.50	6.00	12.25	-	9.00	2.25	1.50	-	2.25	-	-	-	-	1.00	2.00	-	-
秩	-	-	2	1	4	1	3	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
秩	-	-	0.67	0.33	1.33	0.33	1.00	0.33	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
本	-	-	5	13	1	1	9	10	3	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
本	-	-	1.25	3.25	0.25	0.25	2.25	2.50	0.75	-	0.25	-	-	1.00	-	-	-	-	-
熊	-	-	5	51	101	3	57	3	6	-	11	4	-	20	-	-	-	-	-
熊	-	-	0.56	5.67	11.22	0.33	6.33	0.33	0.67	-	1.22	0.44	-	10.00	-	-	-	-	-
加	-	-	1	6	10	2	3	21	3	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-
加	-	-	0.17	1.00	1.67	0.33	0.50	3.50	0.50	-	-	1.50	-	1.00	-	-	-	-	-
春	-	-	2	4	14	4	16	10	6	-	1	21	-	-	-	-	-	-	-
春	-	-	0.33	0.67	2.33	0.67	2.67	1.67	1.00	-	0.17	3.50	-	-	-	-	-	-	-
幸	-	1	11	36	26	6	2	32	5	-	1	22	-	1	-	2	-	-	-
幸	-	0.11	1.22	4.00	2.89	0.67	0.22	3.56	0.56	-	0.11	2.44	-	0.50	-	2.00	-	-	-
坂	-	-	4	17	44	-	51	18	3	-	20	2	-	-	-	-	-	-	-
坂	-	-	0.67	2.83	7.33	-	8.50	3.00	0.50	-	3.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-
草	-	-	12	44	58	9	57	33	7	-	3	11	-	1	-	-	-	-	-
草	-	-	1.09	4.00	5.27	0.82	5.18	3.00	0.64	-	0.27	1.00	-	0.33	-	-	-	-	-
狭	1	1	22	74	97	5	137	14	21	-	50	6	-	1	-	-	-	-	-
狭	0.04	0.06	1.29	4.35	5.71	0.29	8.06	0.82	1.24	-	2.94	0.35	-	0.20	-	-	-	-	-
川	-	-	4	58	48	4	46	28	2	-	7	-	-	2	-	-	-	-	-
川	-	-	0.50	7.25	6.00	0.50	5.75	3.50	0.25	-	0.88	-	-	1.00	-	-	-	-	-
越	-	-	17	19	30	3	8	12	10	-	7	21	-	-	-	1	-	-	-
越	-	-	2.13	2.38	3.75	0.38	1.00	1.50	1.25	-	0.88	2.63	-	-	-	1.00	-	-	-
さい	-	1	8	104	253	14	154	137	26	-	25	6	-	7	-	1	-	-	-
さい	-	0.04	0.30	3.85	9.37	0.52	5.70	5.07	0.96	-	0.93	0.22	-	0.88	-	1.00	-	-	-

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く
6月 30日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第26週 平成27年6月22日～平成27年6月28日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	4	-	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	139	1	6	27	20	17	19	16	8	9	3	2	9	-	-	-	-	-	-	-	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	609	1	4	24	28	65	72	93	67	80	44	48	62	7	14	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,127	11	90	139	110	120	121	105	83	52	40	42	99	19	96	-	-	-	-	-	-
水痘	76	3	4	6	8	6	9	13	14	8	3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	785	4	54	193	151	123	121	59	37	21	10	3	6	-	3	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	404	-	1	12	18	48	55	67	57	52	29	32	24	-	9	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	138	3	52	72	7	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	178	-	12	48	37	32	22	9	11	4	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	141	-	1	3	7	15	16	13	12	27	22	11	12	-	2	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	42	1	1	1	3	-	3	1	-	-	-	-	-	4	16	6	1	5	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	5	-	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 #3	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 24 週

(6月8日～6月14日)

平成27年7月1日

インフルエンザの定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.09)、鹿児島県(1.14)、鳥取県(0.48)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は10例と前週と比較して増加し、5県から報告があった。

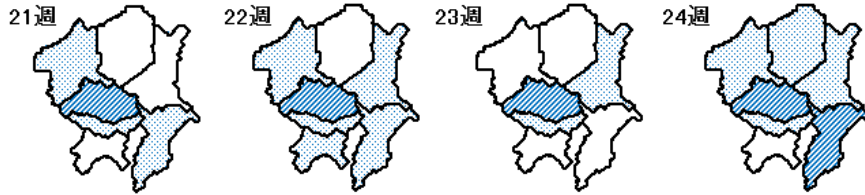
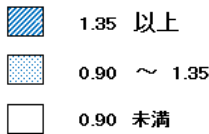
RSウイルス感染症の報告数は278例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(2.46)、島根県(1.52)、北海道(1.34)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(7.79)、愛媛県(6.03)、北海道(5.04)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(14.86)、愛媛県(12.97)、山形県(12.93)である。水痘の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(1.44)、富山県(0.79)、滋賀県(0.78)である。手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は徳島県(13.83)、香川県(8.50)、鳥取県(6.79)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は滋賀県(2.56)、福島県(2.48)、埼玉県(2.25)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.79)、佐賀県(1.39)、石川県(1.21)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は青森県(1.17)、宮城県(0.83)、岐阜県(0.80)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。26都道府県から94例報告があり、年齢別では0歳(10例)、1～4歳(63例)、5～9歳(16例)、10代(2例)、20代(1例)、40代(1例)、70歳以上(1例)であった。

<関東情報>

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、埼玉県(2.25)、千葉県(1.36)からの報告が多い。

伝染性紅斑



平成27年 24週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 843 定点当たり 0.17	95 0.06	37 0.31	2 0.03	6 0.06	6 0.02	21 0.10	8 0.02	15 0.05
RSウイルス感染症	報告数 278 定点当たり 0.09	29 0.03	-	-	-	5 0.03	5 0.04	17 0.06	2 0.01
咽頭結膜熱	報告数 2,423 定点当たり 0.77	724 0.77	53 0.71	20 0.42	17 0.28	186 1.16	124 0.94	200 0.76	124 0.62
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 11,481 定点当たり 3.64	3,649 3.88	249 3.32	158 3.29	222 3.70	762 4.73	476 3.61	1,077 4.10	705 3.51
感染性胃腸炎	報告数 22,376 定点当たり 7.10	6,561 6.98	405 5.40	153 3.19	388 6.47	1,485 9.22	898 6.80	1,957 7.44	1,275 6.34
水痘	報告数 1,328 定点当たり 0.42	453 0.48	49 0.65	11 0.23	11 0.18	89 0.55	46 0.35	125 0.48	122 0.61
手足口病	報告数 8,421 定点当たり 2.67	1,718 1.83	31 0.41	141 2.94	247 4.12	332 2.06	97 0.73	489 1.86	381 1.90
伝染性紅斑	報告数 2,894 定点当たり 0.92	1,252 1.33	86 1.15	48 1.00	80 1.33	362 2.25	180 1.36	330 1.25	166 0.83
突発性発しん	報告数 2,029 定点当たり 0.64	704 0.75	50 0.67	33 0.69	45 0.75	121 0.75	86 0.65	210 0.80	159 0.79
百日咳	報告数 67 定点当たり 0.02	14 0.01	1 0.01	2 0.04	1 0.02	-	3 0.02	7 0.03	-
ヘルパンギーナ	報告数 2,139 定点当たり 0.68	313 0.33	15 0.20	3 0.06	19 0.32	66 0.41	28 0.21	101 0.38	81 0.40
流行性耳下腺炎	報告数 1,364 定点当たり 0.43	447 0.48	42 0.56	19 0.40	25 0.42	135 0.84	88 0.67	80 0.30	58 0.29
急性出血性結膜炎	報告数 13 定点当たり 0.02	4 0.02	2 0.12	-	-	1 0.02	1 0.03	-	-
流行性角結膜炎	報告数 489 定点当たり 0.71	195 0.96	13 0.76	8 0.67	24 1.71	38 0.93	39 1.15	25 0.64	48 1.04
細菌性髄膜炎 #2	報告数 5 定点当たり 0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数 21 定点当たり 0.04	5 0.06	-	-	-	1 0.10	-	2 0.08	2 0.20
マイコプラズマ肺炎	報告数 118 定点当たり 0.25	14 0.17	-	2 0.29	2 0.25	4 0.40	1 0.11	5 0.20	-
クラミジア肺炎 #3	報告数 9 定点当たり 0.02	2 0.02	-	-	-	2 0.20	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 94 定点当たり 0.20	5 0.06	-	-	1 0.13	1 0.10	1 0.11	1 0.04	1 0.10

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

埼玉県の腸管出血性大腸菌検出状況

三類感染症である腸管出血性大腸菌感染症は、今週（第26週：6月22～28日）は10人（診断週集計）の届出があり、第1週からの累積は47人となりました。年齢階級別では、70歳代以上が9人と最も多く、次いで10-14歳、15-19歳及び40歳代が各6人でした。病型別では患者が31人、患者の発生に伴って実施された接触者検便や食品取扱従事者等の定期検便により検出された無症状病原体保有者が16人でした。

表 年齢階級別病型別届出数(2015年第1週～第26週)

年齢階級	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	総計
患者	4	1	4	3	4	2	4	1	1	7	31
無症状病原体保有者	1		2	3	1	2	2	2	1	2	16
総計	5	1	6	6	5	4	6	3	2	9	47

届出は第22週（5月25～31日）以降増加しました。第22週以降に届出された30人の血清型、毒素型は、O157VT1,2が12人と最も多く届出の約半数を占めたが、今週届出された10人からは、O157VT1,2、O157VT2、O26VT1、その他の血清型（O91）が検出され、多様な血清型/毒素型が確認されています。

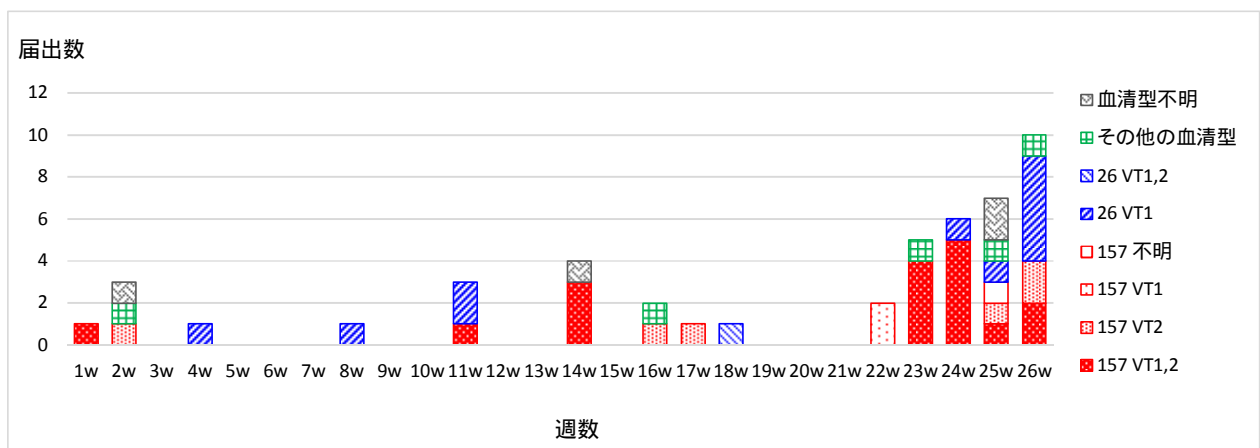


図 診断週別血清型別届出数(2015年第1週～第26週)

埼玉県では、喫食などの行動歴調査と分離株の積極的収集による腸管出血性大腸菌感染症を対象とした原因究明事業を実施しています。今後とも、腸管出血性大腸菌感染症を診断した場合の速やかな届出と原因究明調査への協力をお願いします。



総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2015年 > 感染症の流行状況 2015年 第26週

感染症発生動向調査 2015年

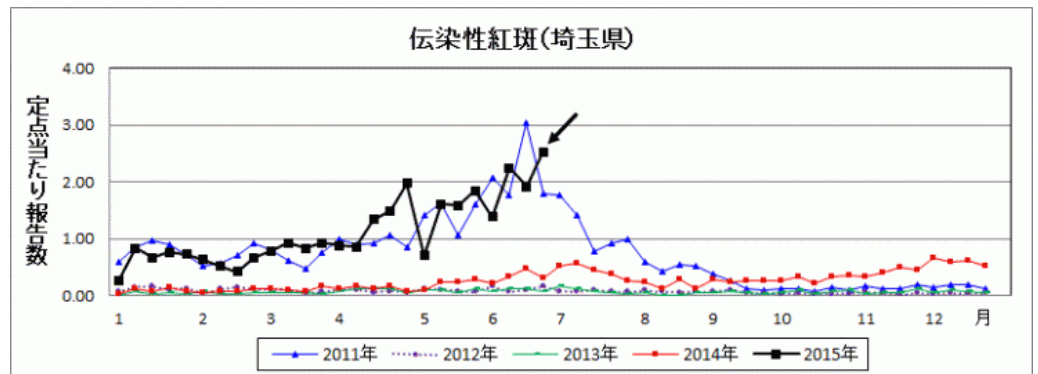
- [感染症の流行状況 2015年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第24週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第](#)

感染症の流行状況 2015年 第26週

2015年第26週（平成27年6月22日～6月28日）の要点 平成27年7月1日

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、前週より増加し、報告数の多い状況が続いています。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ			伝染性紅斑		
RSウイルス感染症			突発性発しん		
咽頭結膜熱			百日咳		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			ヘルパンギーナ		
感染性胃腸炎			流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）		
水痘（みずぼうそう）			急性出血性結膜炎		
手足口病			流行性角結膜炎		

*1. 推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 *2. 推移は2週間前からの傾向を示します。（ :増減無し、 :増加、 :減少） *3. 流行状況は今週の流行を示します。（小さい、 、 大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン

お問い合わせ

保健医療部 衛生研究所 感染症疫学情報担当
 郵便番号355-0133 埼玉県比企郡吉見町江和井410番地1
 電話：0493-59-9325
 ファックス：0493-59-9613

▶ お問い合わせフォーム